

# 衆議院農林水産委員会ニュース

【第 219 回国会】令和 7 年 12 月 18 日（木）、第 4 回の委員会が開かれました。（閉会中審査）

## 1 農林水産関係の基本施策に関する件（畜産問題等）

- ・ 鈴木農林水産大臣、根本農林水産副大臣、広瀬農林水産大臣政務官、越智経済産業大臣政務官及び政府参考人に対し質疑を行いました。

（質疑者） 鈴木貴子君（自民）、渡辺創君（立憲）、山田勝彦君（立憲）、西川将人君（立憲）、池畑浩太郎君（維新）、長友慎治君（国民）、臼木秀剛君（国民）、大森江里子君（公明）、八幡愛君（れ新）

（質疑者及び主な質疑事項）

### 鈴木貴子君（自民）

- （1） 年末年始の牛乳の需要喚起に向けての業界を挙げた取組の必要性
- （2） 加工原料乳生産者補給金制度関係
  - ア 集乳に対する支援の仕組み自体を検証する必要性
  - イ 加工原料乳生産者補給金等の単価及び総交付対象数量が予算総額ありきで決定されているのではないかとの現場の懸念に対する農林水産大臣の見解
- （3） 酪農ヘルパーに対する支援の充実の必要性

### 渡辺創君（立憲）

- （1） 和子牛価格関係
  - ア 現状の評価及び今後の動向の見通し
  - イ 回復基調にあると農林水産省が認識していることの確認
- （2） 令和 2 年から令和 5 年末までの増頭を対象として行われた繁殖雌牛の増頭奨励事業の総括
- （3） 令和 6 年度から実施している優良繁殖雌牛更新加速化事業の奨励金の交付実績及び事業効果
- （4） 酪農及び肉用牛生産の近代化を図るための基本方針の令和 12 年度目標関係
  - ア 目標の設定根拠
  - イ 消極的な目標となっていることに対する農林水産大臣の見解
- （5） 牛肉の対中輸出再開に向けた協議が厳しい状況となっていることに対する農林水産大臣の見解
- （6） 牛肉の消費者ニーズの多様化に対する見解
- （7） 稲発酵粗飼料用稲（WC S 用稲）の作付面積が減少している状況に対する見解
- （8） 地域計画関係
  - ア 農地の集約化を明確にできた地域計画の割合
  - イ 当初想定していた水準に達している目標地図は 1 割しか作成されていないことの確認
  - ウ 現状に対する農林水産大臣の認識
  - エ 当初想定していた水準との関係についての現状認識

### 山田勝彦君（立憲）

- （1） 和子牛価格高騰の原因
- （2） 肉用牛農家の年間平均所得
- （3） 肉用子牛生産者補給金関係
  - ア 農林水産省が試算している子牛 1 頭当たりの生産費
  - イ 保証基準価格を引き上げる必要性

- (4) 肉用牛肥育経営安定交付金（牛マルキン）の交付金単価が2年前の生産費統計を用いて算定されることを踏まえ肥育農家に対する緊急支援を行う必要性
- (5) 飼料価格の高騰に対する支援を強化する必要性
- (6) 農家が経営継承する際の贈与税を大幅に減免する必要性
- (7) 経営継承に係る相続税・贈与税の納税猶予制度を浸透させるため、現場には納税猶予ではなく農業を継続することを条件とした免除と説明することに対する農林水産大臣の見解
- (8) 食鳥処理におけるスタンピング工程の導入に対する支援を行う必要性
- (9) アニマルウェルフェアに関する数値目標を設定する必要性
- (10) 牛の放牧に係る取組を環境保全型農業直接支払交付金の対象とする必要性

#### 西川将人君（立憲）

- (1) 高病原性鳥インフルエンザ関係
  - ア 埋却用地購入に対する助成制度の必要性
  - イ 焼却施設利用促進に向けた取組の必要性
- (2) 加工原料乳生産者補給金及び集送乳調整金の単価引上げ幅と総交付対象数量を昨年度以上に確保する必要性
- (3) 水田政策の見直し関係
  - ア 令和9年度以降の見直し後も飼料用米等への支援を継続する必要性
  - イ 新制度について概要の早期提示又は実施延期の必要性
  - ウ 地域ごとの条件格差を是正する役割を担う公平な制度とする必要性
  - エ 令和9年度以降の予算額についての農林水産大臣の見解
- (4) 獣医学部における産業動物についての学生の認知度向上の取組強化及び産業動物に対しての医療補助を行う看護師の国家資格化の必要性

#### 池畑浩太郎君（維新）

- (1) 皮革業界関係
  - ア 米中の貿易摩擦や相互関税措置の影響
  - イ 更なる支援の必要性
- (2) 和牛肉の輸出促進に今後一層強く取り組む必要性
- (3) 鶏卵を安定供給するための体制構築の必要性
- (4) 輸出対応型食肉処理施設整備への支援強化の必要性

#### 長友慎治君（国民）

- (1) 牛乳の消費が落ちる時期に大量廃棄のリスクを回避する方法
- (2) 一部の指定団体における乳製品の組合員等への購買奨励関係
  - ア 令和5年に農林水産省が示した事例の具体的な状況
  - イ 現在は任意の取組となっているかの確認
- (3) 高病原性鳥インフルエンザ関係
  - ア 埋却地の確保状況についての認識
  - イ 宮崎県内の畜産農家による埋却用地の法的権限を含めた確保についての確認状況
  - ウ 埋却地が足りていないとの指摘に対する農林水産大臣の見解及び農林水産省による対策
  - エ 防疫措置従事者の疲弊を防ぐためにも防疫体制を見直す必要性

**臼木秀剛君（国民）**

- (1) 高病原性鳥インフルエンザに関連して発生前の防疫措置や分割管理、発生後の手当金等の対策を拡充する必要性
- (2) 国産飼料関係
  - ア 飼料自給率が20年以上横ばいで上がっていない原因
  - イ 粗飼料の生産拡大に係る地域別等の具体的な戦略に対する見解
  - ウ 子実用とうもろこしの生産を維持・拡充するための施策の必要性

**大森江里子君（公明）**

- (1) 令和7年度補正予算及び編成中の令和8年度予算における酪農・畜産関係の人手不足の解消策
- (2) 酪農ヘルパー関係
  - ア 男女別平均年齢
  - イ 要員確保の在り方
- (3) 米価高騰関係
  - ア 要因についての農林水産大臣の認識
  - イ 今後は精米ベースの需給を把握した上で需給見通しを示すことの確認
  - ウ 食料・農業・農村基本計画における米の生産量目標を今後も維持することの確認
  - エ 現下の米価高騰でも米の安定供給が確保されていると言えるかについての農林水産大臣の見解
  - オ 地方自治体によって対応の異なるお米券ではなく米価自体を下げる施策の必要性
- (4) 今後の都市農業の課題及び対応策

**八幡愛君（れ新）**

- (1) バター価格上昇に対する見解
- (2) 乳製品の価格を安定させるための取組
- (3) 日本中央競馬会（JRA）から国への財源拠出のための法整備の検討に係る報道関係
  - ア 日本中央競馬会法第36条の規定により民間の社会福祉事業の振興のために必要な経費に充てるとされる国庫納付金の具体的な用途等についての農林水産省の把握状況
  - イ 農業構造転換集中対策期間に行う事業の予算規模及びそのうちJRAからの拠出額
  - ウ これまでに日本中央競馬会法第29条に規定する特別積立金の処分に係る政令を制定した事実の有無
  - エ 日本中央競馬会法の趣旨等を踏まえた特別積立金の在り方やギャンブル等依存症対策に係る検討のため審議会等で議論をする必要性

**2 令和8年度畜産物価格等に関する件**

- ・野中厚君外6名（自民、立憲、維新、国民、公明、れ新、有志）から提出された令和8年度畜産物価格等に関する件の決議案について、提出者神谷裕君（立憲）から趣旨説明を聴取しました。
- ・採決を行った結果、全会一致をもってこれを委員会の決議とすることに決しました。  
（賛成—自民、立憲、維新、国民、公明、れ新、有志、林佑美君（無））
- ・鈴木農林水産大臣から発言がありました。